

ホップ♪ ステップ♪ のとがわ

一般社団法人 能登川地区まちづくり協議会

第26回 能登川ふれあいフェア2018

- 日時：10月21日(日) 9:00～15:00
- 場所：ふれあい運動公園
- 主催：能登川ふれあいフェア実行委員会
- 共催：東近江市、東近江市商工会
- 協賛：東近江市商工会能登川支部・のとがわ福祉の会
(一社)能登川地区まちづくり協議会



「であい・ふれあい・語りあい びわ湖から」をテーマに、地域のみなさんとの交流の場として毎年開催されています。

秋晴れの中、大人から子どもまで約4万人の来場者が、約60の模擬店や約100のフリーマーケット、キャラクターショーやアイドルグループのライブのほか盛りだくさんのステージイベントを楽しんでいました。



地域のかたがたによる模擬店



来賓あいさつ



アイドルユニット「フルーレット」のライブステージ



子どもたちに大人気! ふわふわドーム



～地域に支えられ 小さな光が 大きな輝きに～

第15回 2018 Lighting Bell in NOTOGAWA キックオフフェスタ開催



- 日時：10月13日(土) 14:00～17:30
- 場所：やわらぎホール

今年で15回の節目を飾るイベント本番を前に初めて開催しました。

各種の模擬店とお馴染みののとがわ水車太鼓・木猫隊こねこたい(ウインドアンサンブル)・カルチャーハウス A&I (キッズダンス)・催眠マジックショー・L.B スペシャルバンド・大道芸人 丸ちえろなどの出演者が満員の会場を盛り上げました。

NO. 70

昔日のびわ湖岸を取り戻そう



10月14日(日)、栗見新田町自治会(村林則夫会長)20名が地元地先の琵琶湖岸の清掃を行いました。

7月1日(日)に続く今年2回目です。

現状の琵琶湖岸は、流木やゴミが漂着し散乱しています。

住民参加でその除去と清掃を行うことにより、琵琶湖の景観を良くし愛着を持つ市民を増やし、憩いの場



となることを目的に活動しています。

また、10月27日(土)には、栗見出在家町地先でも活動が行われ、市内の高校生、まち協、市職員を加えたボランティアのかたがた総勢62名が汗を流しました。この活動は、今後も継続して行われます。

■主催：栗見プロジェクト 東近江市

一市の主要課題や地域の課題解決に向けた意見交換 平成30年度 能登川地区市政懇話会

■日時：10月25日(木) 19:00~21:30 ■場所：能登川コミュニティセンター ホール

小椋市長・南川副市長・各部の部長・能登川支所長・能登川支所職員・地域担当職員等・能登川地区自治会連合会(53自治会)・まちづくり協議会役員が出席し、下記の主テーマに沿って意見や要望が出され、市の取り組みや、説明が行われました。

<会議内容>

(1) 能登川地域を東近江市の副次都市として、市内を一体的に整備することについて

- ① JR 能登川駅周辺の渋滞解消に向けた整備
- ② 県道神郷彦根線 愛知川新橋の整備と JR 能登川駅までの交通安全対策
- ③ 八日市中心部へのアクセス道路の整備

(2) 市内の一体的な水辺環境の整備と観光施策への提案について

- ① 伊庭町周辺の観光振興、来訪者対策
- ② JR 能登川駅を拠点に市内の観光情報を発信
- ③ 栗見プロジェクトの推進、その他、琵琶湖岸での事業展開

(3) 「永源寺ダム構造の見直し」および「市民の防災意識の高揚」について

- ① 永源寺ダムの抜本的な構造変更
- ② 防災情報告知放送システム「個別受信機」の全戸設置
- ③ 災害研修施設の整備



< 能登川病院情報 >

— 美化・植栽チーム —

駐車場のライン引き作業

長らく消えていた駐車場のライン、その修復作業を10月14日(日)から11月24日(土)の間の活動予定日以外の週末に、自前の資材を準備し実施しました。

来院者の安全確保に多少なりとも貢献できたと自負しています。

■能登川病院をよくする会



能登川のむかし話

【シリーズ】

霊験あらたか 汗かき地蔵さん

林の村の地蔵さんは、昔から「汗かき地蔵さん」と言われて、災害があると、みんなに汗かいて知らしめてくれるんです。

じつとりと地蔵さんがぬれはつてな。

たとえ災害があっても、軽ろつて済ましてくれるし、村中で大切にお守りしています。特に、年寄りの男のもんが一年間ずつ、交替で、毎朝、お花とお仏飯をお供えさしてもろてます。ほして、村中の家内安全をお祈りして、一日が開けますのや。

また、地蔵さんはどの方もあんまり動くのがお好きやないと聞くんで、道端に転ってはるのは、さわらへん方がよい言います。

「もったいない」と言つて、動かして、おまつりするより、そつとしく方が喜ばはる言いますのでなあ。



出典：「能登川のむかし話」
昭和55年能登川町教育委員会

小中学校の工事が終わりました！

2年間の工期を経て能登川西小学校と能登川中学校の大規模改修工事が終わりました。

能登川西小学校は昭和51年、能登川中学校は昭和58年建築で老朽化の進んでいた校舎の外壁、屋上防水ならびに照明のLED化や要望の多かったトイレの改修もされました。



多目的トイレ（小学校）



普通教室（中学校）



児童・生徒のコメント

「新しくなった教室を見てワクワクし、勉強をするのが楽しくなりました。ずっときれいに使っていきたいです。」

（能登川西小学校3年生の加藤葉さん）

「全部きれいになり、とてもいい学校になりました。これからずっときれいに使っていけるのでうれしいです。」

（能登川西小学校3年生の中谷咲子さん）

「学校がきれいになったことで、生徒全員の学校生活が、より充実したものになったと思います。これからも、この能登川中学校を大切にしていきたいです。」

（能登川中学校3年生生徒会長の桂田泰誠さん）

第15回 2018 Lighting Bell in NOTOGAWA



- 開催期間：12月15日(土)～12月24日(月・振休)
- 点灯時間：17:30～22:00
(12月15日は16:45～点灯式)
- 会場：林中央公園

会場作りに参加しませんか？

【下記日時のご都合の良い日・時間にお手伝いください】

12月1日(土)・2日(日)・8日(土)・9日(日)

- *いずれも、9:00～12:00、13:00～16:00（短時間可）
- *暖かい服装・軍手・長靴をご用意ください。
- *撤収日（1月12日(土)・13日(日)）もお願いします。

まち協おしゃべりカフェ



すまいる

- 日時：12月20日(木)・1月25日(金) 9:00～12:00
- 場所：能登川コミュニティセンター2階 学習室1
- 参加費：200円
介護する人、される人
おしゃべりの好きな人
お茶とお菓子でほっこりしませんか？
どなたでもご参加していただけます
- 主催：（一社）能登川地区まちづくり協議会
— 健康福祉事業部 —



結婚をサポートします!! 結婚希望者の登録を受付



登録者は、異性のプロフィールシートの閲覧、異性との対面ができます。
○独身で結婚後に東近江市に定住する意志のある人
○写真（縦7cm×横6cm以内）、免許証などの顔写真付きの本人確認ができるものを持参ください。

【日程・時間・場所】

- 月曜から金曜 9:00～16:00 東近江市役所企画課(本庁舎本館3階)
- 12月9日(日)・2月9日(土) 9:30～11:30 八日市文化芸術会館会議室

■東近江市結婚サポート連絡会

能登川ふるさとクイズ

Q 新快速停車駅のJR能登川駅の一日当たりの平均旅客乗車人員(H29)は、どのくらいでしょうか？

- ① 約 5,300人
- ② 約 7,200人
- ③ 約 10,800人



※乗降人員ではありません。
※クイズ解答は、2ページにあります。

のとがわコミセンだより

第60回 能登川地区文化祭

～ ふれあいと文化の祭典 ～

■日時：10月27日(土) ダンスパーティー
10月29日(月)～ 菊花展
11月3日(土)4日(日)

作品展示
歴史講話
青少年育成大会
芸能発表会
模擬店など

■来館者：延べ2,300人

■主催：能登川地区文化祭実行委員会
(事務局：コミセン)

ダンスパーティーを幕開けに、今年も能登川地区文化祭が開催されました。

コミセン前では菊花展が催され、歴史講話では郷土史家・文筆家の野村赤一氏を講師に迎え、「井伊大老と彦根藩の真実～彦根藩士が大老暗殺の仇討ちをしていた～」と題して講演いただきました。青少年育成大会では、青少年の主張やパネルディスカッションがありました。囲碁・将棋大会では、最近の将棋人気もあり、子ども棋士の姿も見られました。

作品展示と芸能発表会では、さまざまなサークルが日ごろの成果を披露されました。

普段、コミセンを訪れることが少ない人たちも多数来館いただき、盛大に終えることができました。



ダンスパーティー



将棋大会



青少年育成大会

ホールの手摺設置

— 能登川コミュニティセンター —

かねてより市へ要望していました手摺が、このほど入口側の壁面に設置されました。



お詫びとごあいさつ

能登川地区スポーツ協会

会長 大橋 市三

日ごろは当会の運営にご支援ご協力いただき誠にありがとうございますとございます。

さて、第55回能登川地区市民運動会(10月7日)は、台風25号接近のため、安全を最優先にやむなく中止という苦渋の決定をさせていただきますました。

楽しみにされておられた参加予定の自治会のみならず、ま方にはお詫び申し上げます。

近年、少子高齢化の影響でしょうか、参加自治会数は減少傾向にあります。

しかしながら、「スポーツを核にした連携・協働の促進」・「スポーツ文化の享受できる環境と多様化促進」を念頭に頑張っております。

そして、今後さらに老若男女がごぞつて楽しんでいただける競技を取り入れ、地区住民の結束・交流の場としての運動会をはじめ、さまざまなイベントで地域に貢献していきます。

一層のご支援をお願いいたします。